

レジメンスケジュール

診療科	消化器外科
適応	治療切除不能なHer2陽性進行再発胃癌
レジメン	胃XP+Tmab療法

申請・改訂日	2011年7月
備考	Her2陽性胃癌1st line

クール関連	
-------	--

使用した臨床データ	がん化学療法レジメンハンドブック
-----------	------------------

1クール目																		
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	day21
メイン①		酢酸リンゲル液	500mL	メイン①	120分		○											
メイン②		酢酸リンゲル液	500mL	メイン②	120分		○											
側①	○	トラスツズマブ 生理食塩液	8mg/kg 250mL	側管	90分		○											
		アプレピタント		内服	シスプラチン投与1時間前		125mg	朝80mg	朝80mg									
側②		デキサメタゾン注	9.9mg				○											
側②		ハロノセトロン注	0.75mg	側管	30分	①と同時に開始	○											
側②		生理食塩液	100mL				○											
側③	○	シスプラチン 生理食塩液	80mg/m2 500mL	側管	120分		○	シスプラチン投与後数日間は飲水励行。補液追加も検討を。										終了
メイン③		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分		○											
メイン④		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分		○											
	○	カベシタピン	2000mg/m2/day	内服	1日2回朝夕		day1-14後休薬(2投1休)											
(C法) 体表面積1.96m ² 以上: 4200mg/day 体表面積1.66~1.96m ² : 3600mg/day 体表面積1.36~1.66m ² : 3000mg/day 体表面積1.36未満: 2400mg/day																		

2クール目以降																		
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	day21
メイン①		酢酸リンゲル液	500mL	メイン①	120分		○											
メイン②		酢酸リンゲル液	500mL	メイン②	120分		○											
側①	○	トラスツズマブ 生理食塩液	6mg/kg 250mL	側管	90分		○											
		アプレピタント		内服	シスプラチン投与1時間前		125mg	朝80mg	朝80mg									
側②		デキサメタゾン注	9.9mg				○											
側②		ハロノセトロン注	0.75mg	側管	30分	①と同時に開始	○											
側②		生理食塩液	100mL				○											
側③	○	シスプラチン 生理食塩液	80mg/m2 500mL	側管	120分	total500mL	○	シスプラチン投与後数日間は飲水励行。補液追加も検討を。										終了
メイン③		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分		○											
メイン④		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分		○											
	○	カベシタピン	2000mg/m2/day	内服	1日2回朝夕		day1-14後休薬(2投1休)											
C法(1000mg/m2/回) 体表面積1.96m ² 以上: 4200mg/day 体表面積1.66~1.96m ² : 3600mg/day 体表面積1.36~1.66m ² : 3000mg/day 体表面積1.36未満: 2400mg/day																		

Cr(mL/min)	シスプラチン
60以上	80mg/m2
51-59	60mg/m2
41-50	40mg/m2
40以下	投与中止

Cr(mL/min)	カベシタピン
50以上	減量なし
30-50	1段階減量
30未満	投与中止

カベシタピン(C法)			
体表面積	1回用量		
	初回投与量	減量段階1	減量段階2
1.36 m ² 未満	1,200 mg (4錠)	900 mg (3錠)	600 mg (2錠)
1.36 m ² 以上1.41 m ² 未満			
1.41 m ² 以上1.51 m ² 未満	1,500 mg (5錠)	1,200 mg (4錠)	900 mg (3錠)
1.51 m ² 以上1.66 m ² 未満			
1.66 m ² 以上1.81 m ² 未満	1,800 mg (6錠)	1,500 mg (5錠)	1,200 mg (4錠)
1.81 m ² 以上1.96 m ² 未満			
1.96 m ² 以上2.11 m ² 未満	2,100 mg (7錠)	1,500 mg (5錠)	1,200 mg (4錠)
2.11 m ² 以上			

減量・中止基準

シスプラチンとS-1				
副作用	程度	カペシタビン	シスプラチン	
好中球減少	G4	休薬、G1以下に回復後1段階減量	休薬、G1以下に回復後60mg/m ²	
FN	G3	休薬、G1以下に回復後1段階減量	休薬、G1以下に回復後60mg/m ²	
血小板減少	G4	休薬、G1以下に回復後2段階減量	休薬、G1以下に回復後40mg/m ²	
FN	G4	休薬、G1以下に回復後2段階減量か中止	休薬、G1以下に回復後40mg/m ² か中止	
好中球減少	1000～1500/mm ³	休薬せず1段階減量で投与可能。既定の投与量で投与する場合は1500/mm ³ 以上に回復するまで投与延期	休薬せず60mg/m ² で投与可能。既定の投与量で投与する場合は1500/mm ³ 以上に回復するまで投与延期	
血小板数	100000/mm ³ 以上	休薬せず1段階減量で投与可能。既定の投与量で投与する場合は1500/mm ³ 以上に回復するまで投与延期	休薬せず60mg/m ² で投与可能。既定の投与量で投与する場合は1500/mm ³ 以上に回復するまで投与延期	
非血液毒性	Grade	発現回数	カペシタビン	シスプラチン
	G2	1	変更なし	変更なし
		2	休薬、G1以下に回復後1段階減量	変更なし
		3	休薬、G1以下に回復後2段階減量	変更なし
	G3	1	休薬、G1以下に回復後1段階減量	G1以下に回復後60mg/m ²
		2	休薬、G1以下に回復後2段階減量	G1以下に回復後60mg/m ²
		1	休薬、G1以下に回復後2段階減量か中止	休薬、G1以下に回復後60mg/m ² か中止
トラスツズマブ				
特に規定なし。定期的な心機能のモニタリングを行うこと。				